

福島を上演する

マレビトの会



©Keiko Sasaoka

2016(平成28)年11月17日(木)~20日(日)／にしすがも創造舎

福島を上演する

11/17(Thu)19:00-, 18(Fri)19:00-, 19(Sat)15:00-, 20(Sun)15:00-

@にしすがも創造舎(〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1)

★各回終演後、ポスト・パフォーマンスあり。その公演のチケットをお持ちの方は日時を問わず入場可(ただし終演後)
11/17(Thu)横堀広彦(F/Tプログラム・コーディネーター)、マレビトの会プロジェクトメンバー、11/18(Fri)西尾佳織(劇作家、演出家、鳥公園主宰)、
11/19(Sat)横橋修(建築家、神戸大学工学部准教授、ティーハウス建築設計事務所主宰)、11/20(Sun)長島輝(ドラマトルク、翻訳家)
詳細はF/T公式HPでご確認ください。

※本作品は1公演につき、アイダミツル、神谷圭介、松田正隆、三宅一平、山田 咲ら複数の書き手による複数の戯曲で構成されています。
※4日間、4公演全体で1つの作品というコンセプトのもと、各回、上演される戯曲・構成が異なります。
※上演される戯曲・構成は、後日F/T公式HP、マレビトの会HPにて発表いたします。
○休演日:なし ○上演時間:90分(予定) ○日本語上演、字幕なし ○受付開始は開演60分前、開場は15分前

複数のドラマが立ち上げる、福島の「いま」に映るのは

作家・松田正隆の故郷・長崎に取材した『声紋都市一父への手紙』(F/T09春)、韓国人被爆者への取材を題材にした『HIROSHIMA-HAPCHEON:二つの都市をめぐる展覧会』(F/T10)など、未曾有の体験を経た都市の過去と現在を複眼的に捉え、再構築してきたマレビトの会。F/T12で上演された『アンティゴネーへの旅の記録とその上演』に続き、福島に向き合う本作は、2013年から3年間にわたって、長崎を対象に展開したプロジェクトの延長線上にある。複数の作家が一つの都市を取材し、執筆した戯曲群を、ごくシンプルな空間で上演するその試みは、何気ない日常の風景を「ドラマ」として切り取り、それらの集積を通じて、対象とする都市に固有の時間/歴史を探り出そうとする。震災から5年。4日間4公演にわたる複層的な上演がかたちづくる、福島の「いま」に映し出されるのは――。現実を前にした「ドラマ」の意義も究める実験が、ふたたび始動する。

この作品は、かつて突然の破局に見舞われた都市の現在の出来事をもとに演劇として上演することができるのかという問題提起のもとに創作される。マレビトの会はこのモチーフとした「長崎を上演する」という作品を2013年から3年間にわたり創作・上演してきた。今作はその方法を継承しながらも、この上演形態そのものを生成変化させる試みである。

前回の上演シリーズと同様に今作の方法も、戯曲を書く者たちが福島を訪れ、そこに身をおいて経験した街の光景や人々の生活等からの印象をもとにいくつかの断片的な戯曲を書き、それをリハーサルの過程を経て俳優が劇場空間において総合し上演する、というものである。

まずはこれを手がかりとし、「福島」という新たな主題とその創作過程で起こるさまざまな出来事へ向けて、多様体であるべく私たちを開く演劇の力を生み出すことが大きな課題となるだろう。多様体であることは、舞台上立つ身体とその時空間からの私たちへの問いかけである。多様体とは、社会の既存の価値基準によって主体や様相が固定された市民の表象ではなく、顔かたちのない多数者の群れとその周りの言葉にならない時間と空間である。演劇は「見ること」と「話すこと」の組み合わせにおいて生じることである。その二つの無限の結びつきによって劇場空間が多様体へと生成変化(=「なる」)ことを私たちの上演の目的とした。

「福島を上演する」の上演は、2016年11月17日、18日、19日、20日の4日間4回で行われる予定である。この4日間4公演にわたる演劇作品は、複数の書き手による戯曲をもとにした演劇上演で構成されている。4つの公演の上演構成は毎回異なる。したがって、この上演作品は、戯曲ごとで分割できるオムニバス形式の短編戯曲を羅列して上演するのではない。4日間にわたって繰り返される「福島を上演する」という演劇全体が一つの上演作品であり、観客が一回の上演を観るという経験は、全体の一部を垣間見ることと同時に、この福島という都市を主題とした演劇全体の時間と空間に身を持って参入することでもある。なぜなら、あらゆる都市の時間は少しも同じことを反復することなく、日々刻々と流れ去っていくものであり、私たちの上演する「福島」も同様に流動する時空間を表現しなければならないからだ。福島という都市においては、今見ている夕方の5時は、昨日でも明日でもない夕方ははずである。昨日見逃した夕方は、今日の夕方が肩代わりできない夕方であり、その夕方はこの先も二度と起こらない。でありながらも、この世界と同様に福島においても出来事は起こっている。それは反復する。つまりこれまでとは全く異なった出来事が再来するという意味で、それは反復するのである。出来事は一つの言葉で表象できない特異な事態であり、私たちが表現しようとする「福島」とはそういう出来事が集積し、繰り返される場所(時間と空間)である。それを演劇で表現することは、いまだかつて起こらなかった出来事を、劇場で起こすことでもあるのだ。 ———— 松田正隆

作 | アイダミツル、神谷圭介、松田正隆、三宅一平、山田 咲 演出 | 関田育子、福井歩美、松田正隆、三宅一平、山田 咲
出演 | アイダミツル、生実 慧、上村 梓、佐藤小実季、島 崇、田中 夢、西山真来、演野信太郎、山科圭太、弓井茉那、吉澤慎吾、我妻直弥
技術監督 | 廣川英司 舞台監督 | 中原和彦 照明 | 木藤 歩 宣伝写真 | 笹岡啓子 記録写真 | 西野正将 記録映像 | 遠藤幹大
制作 | 中村みなみ(マレビトの会)、三竿文乃、荒川真由子(フェスティバル/トーキョー)
プログラム・コーディネート | 横堀広彦(フェスティバル/トーキョー)
制作協力 | 森真理子、吉田雄一郎(マレビトの会) 協力 | テニスコート 企画 | マレビトの会
主催 | フェスティバル/トーキョー、一般社団法人マレビト

マレビトの会 / marebito theater company

2003年、舞台芸術の可能性を模索する集団として設立。代表の松田正隆の作・演出により第1回公演『鳥式振動器官』を上演する。09年以降は、集団創作に重きを置くとともに、展覧会形式での上演や、現実の街中での上演、インターネット上のソーシャルメディアを用いた上演など、既存の上演形式にとどまらない、さまざまな演劇表現の可能性を追求している。

【チケット情報】チケット発売中/自由席(整理番号つき)

- 一般…3,500円(当日+500円)
- 学生…2,300円(当日共通、要学生証提示)
- 高校生以下…1,000円(当日共通、要学生証提示)
- 4回セット券…12,000円(前売のみ)

3演目、5演目セット券での複数選択可。
F/Tチケットセンターのみ取扱い。詳細はF/T公式ウェブサイトへ

※チケットの払戻し、観劇日時の変更はできません。 ※未就学児の入場はお断りいたします。
※車椅子でご来場のお客様は、スムーズなご案内のためF/Tチケットセンターまでご連絡ください。
※チケット料金には消費税が含まれます。

【障害者割引】一般前売チケットのみご本人様10%OFF、付添いの方(1名)は無料
F/Tチケットセンター電話予約のみ取扱。(当日受付で要障害者手帳提示)

【チケット取扱】

●F/Tチケットセンター

電話予約 | 03-5961-5209(受付時間12:00-19:00 定休日あり)
オンライン予約 | festival-tokyo.jp (24時間受付)

●東京芸術劇場ボックスオフィス

(一般前売・ペア・学生・高校生以下チケット取扱い)
電話予約 | 0570-010-296(休館日を除く10:00-19:00/窓口販売あり)
オンライン予約 | http://www.geigeki.jp/

●チケットぴあ(一般前売取扱い)

電話予約 | 0570-02-9999(Pコード561-204)
オンライン予約 | http://w.pia.jp/t/festival-tokyo/

●カンフェティ(一般前売取扱い)

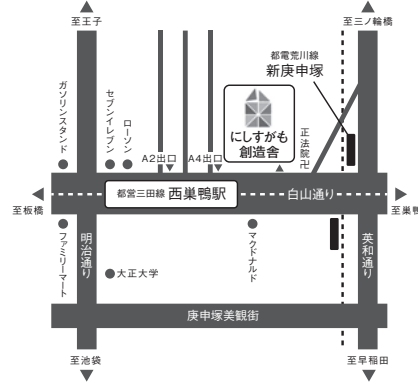
電話予約 | 0120-240-540(平日10:00~18:00 オペレーター対応)
オンライン予約 | http://www.confetti-web.com/ft2016
※無料託児サービス有

【お問い合わせ】フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

Tel | 03-5961-5202 公式HP | festival-tokyo.jp
Twitter | @festivaltokyo Facebook | FestivalTokyo

【会場・アクセス】にしすがも創造舎(〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1)

○都営三田線「西巣鴨駅」A4(エレベーター出口)すぐ ○都電荒川線「新庚申塚」より徒歩3分

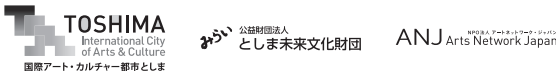


東京芸術祭とは

東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した、都市型総合芸術祭を創設します。2016年秋は舞台芸術フェスティバルを豊島区池袋エリアで展開。新たな価値観をはぐくむ交流と参加の場が生まれます。



主催 | フェスティバル/トーキョー実行委員会
豊島区・公益財団法人としま未来文化財団/NPO法人アートネットワーク・ジャパン、
アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協賛 | アサヒビール株式会社、株式会社資生堂
平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
(池袋/としま/東京アーツプロジェクト事業、としま国際アートフェスティバル事業)
フェスティバル/トーキョー16は東京芸術祭 2016の一環として開催されます。



ARTS COUNCIL TOKYO 東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre
※プログラムの内容等は変更になる場合がございます。